

川上村の今を伝える行政情報誌

広報 かわかみ

no. 150

令和2年4月24日



CONTENTS

- 02 新村長あいさつ 04 令和2年度一般会計予算 08 副村長退任挨拶
09 新庁舎・交流防災センターについて 11 子ども・子育て支援事業計画について
12 三校職員体制

住民アンケート 在中

みなさんの声を
聞かせてください。
詳しくは同封の用紙を
ご覧ください。



プロフィール

由井 明彦 (ゆい みるひこ)

昭和22年5月15日生まれ。御所平在住。

平成12年から平成19年まで助役・副村長を歴任。

令和2年2月27日から川上村長に就任。

初当選！由井明彦村長 「これからの村づくり」

2月に行なわれた川上村長選挙の結果、由井明彦氏が新たに川上村長に就任しました。

今回の選挙で見事初当選となった由井明彦新村長、
これからの川上村について聞きました。

はじめに

この度の川上村長選挙において、川上村長に就任いたしました由井明彦です。就任にあたり一言ご挨拶申し上げます。まず初めに、藤原忠彦前村長には8期32年という長きにわたり、村民のため、村のため、また地域のため、地方のために全身全霊を傾けて村政を引っ張っていただき、改めて敬意を表するとともに心より御礼申し上げます。そんな偉大な名村長から村政を引き継いだ訳ですから、責任の重大さを痛感しております。私自身、粉骨砕身、確固たる覚悟で臨んで参るつもりです。

「どんな村づくりを 目指しますか」

私のスローガンが『元気で優しい明るい村づくり』でありますので、山紫水明のこの川上村で生まれ育つてよかったと思えるような村づくりを目指したいと思います。また、行政主導の村づくりではなく、村民と共に、村民のための村づくりを実現させて参ります。

「元氣な村づくりについて」

まずは、村民が元気に暮らせる村にすること。昨年の台風19号においては、幸いにも人的・家屋被害は少なかったも

の、約430名の村民が避難するほどの大きな台風に見舞われ、農地においては、畑の流出や排水路・農道の損壊が各所で見られました。安心して暮らせることが、村民が「元氣」でいられることに繋がりますので、まずは、被災箇所の早期復旧に努め、排水路などを改めて整備したいと考えております。

「優しい村づくりについて」

これは、特に高齢者や障がい者などの皆さんが安心して暮らせる地域づくりでございます。先般の村長選挙における信濃毎日新聞の出口調査においても、多くの皆さんが最も優先してほしい政策は何かとの問いに、福祉・医療との回答が多くありました。現在、本村においては、ヘルシーパークを拠点に医療・介護・保健・福祉に先進的に取り組んでおります。しかしながら、高齢化は更に進み、障がいのある方も様々です。そうした皆さんの多様なニーズに対応するためには、ヘルシーパーク構想の拡充によるサービスの充実が必要になると考えております。

「明るい村づくりについて」

先日就任の際の訓示で、職員には挨拶の励行により村



民との距離を縮め、そこに笑顔が生まれるように心がけてもらいたいと述べました。明るい村とは、笑顔が多い村だと思っています。笑顔は安心で安全でなければ生まれません。そのため、特に子どもの笑顔のための施策に取り組んで参りたいと考えます。また、子どもはお父さんやお母さんの笑顔が大好きです。子育てする親が笑顔でいられる施策にも取り組んで参りたいと思います。

―防災について

避難所整備や防災計画の見直しなど、防災・減災強化の村づくりに努めます。災害対応の拠点施設である役場庁舎についても、選挙戦当初は延期するとしていました。しかし、支援者の皆さまの声や他の事業との兼ね合い、また財政的負担を考慮しますと、今進められている計画に沿って事業を実施すべきと判断しました。併せて建設する予定の交流防災センターも、有事の際は避難施設として、また普段は多くの生涯

学習教室や村民が気軽に集える交流の場となる施設としていきたいと思っています。

―産業について

何といつても本村の基幹産業は農業です。農家の元気がこの村の活気に繋がります。安定経営ができるためには安定基金の拡充はもとより、JA等生産団体と共に、更なるブランド化を図って参りたいと考えます。また、農業後継者の皆さんが安心して暮らせるための住宅整備なども引き続き促進して参ります。それに伴い、男性のみならず女性の結婚支援にも積極的に取り組んで参ります。

―女性の活躍の場について

本村においては、以前より多くの方が村外から嫁いで来ています。すばらしい感性をもった方も多く、昨年もそうした方々による催しも開催されたと聞いております。昨年は初の女性議員も誕生し、農業委員にも2名、民生児童委員においては半数以上が女性であります。今後も様々な機会において支援をすると共に、女性の参画をお願いしたいと思っています。

―観光について

昨年、秩父多摩甲斐国立公

園地域が甲武信ユネスコエコパークに登録されました。千曲川の源流など、本村にはすばらしい自然があります。その自然を保護するとともに、多くの方が訪れるよう、環境整備に努めて参りたいと考えます。

―福祉について

本村においては現在、介護は社会福祉協議会に依存していますが、通年的な人材確保に苦労されていると聞いております。看護師や介護士など、人手不足、なり手不足でサービスを低下させることは回避しなければなりません。村内外からの人材確保のための施策を早急に考え、実行して参りたいと考えております。また、心のケアも必要な方もおられると思います。相談体制の更なる拡充のため、精神カウンセラーや臨床心理士の雇用等も検討して参ります。

―教育について

子育て支援センターや放課後児童クラブの継続はもちろんです。子どもたちの大切な教育環境であります小学校統合につきましても、小中一貫校を踏まえた統合をする、という方針を継承し、早期実現に向

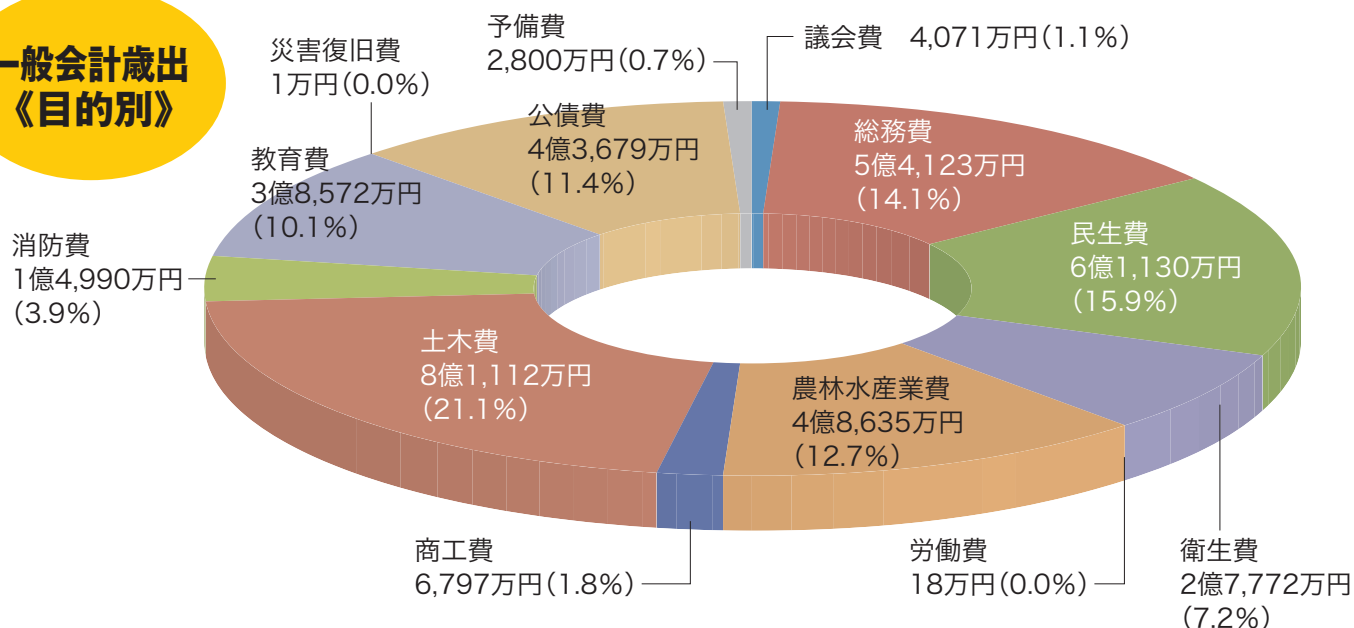
けて促進して参ります。最大の課題は、建設用地の確保と、どういった特徴のある一貫教育を目指すかであると聞いております。統合研究委員会において十分な議論と検討を行って参りたいと考えます。

―最後に村民の皆さんに一言お願いします

今回、村長選挙を経て、村民の皆さんの意見をたくさん聞くことができました。本当にありがたく思っております。行政の仕事のひとつは、将来を見据えてある程度の見地に立つて計画を練り、実行していくことです。しかし、もっと大切な仕事は、住民のための仕事をするところであります。これを成し遂げるには、住民の声をまず聞くこと、知ることであると私は思っております。今、村民の皆さんが将来を見据え、何を望んでいるのか、何を不安に、また困っているのかなど膝を交えてお聞きしたいと考えております。なにか気付いたことなどがありませんでしたら何なりと私にご相談ください。常に村民に寄り添い、皆さんの声が行政に届くよう村民本意の行政運営を心掛けて参りたいと考えておりますので、どうぞよろしく願います。

令和2年度 一般会計予算 38億3,700万円

一般会計歳出 《目的別》



興(街路灯設置補助・防犯対策ほか)、広報(有線テレビ・広報誌)、市町村地域交流、防災行政無線維持管理、戸籍住民登録、統計(学校基本調査・工業統計調査・国勢調査)

民生費 6億1,130万円

■放課後児童クラブ

授業終了後、仕事などで保護者がいない家庭の児童を公民館などで預かり、遊びを主とする活動を通じて、児童の育成と保護者の就労を支援します。上地区、下地区で年間を通して事業を行います。(915万円)

■子育て支援センター運営費

子どもを育てやすい子育て支援を推進します。(2,055万円)

■その他 福祉医療扶助、社会福祉協議会委託、特別会計繰出(国保・介護・後期高齢者)、障害者福祉、高齢者福祉、児童手当、介護予防事業、地域包括支援センター運営、人権政策、保育所運営、国民年金

衛生費 2億7,772万円

■不妊治療費補助

体外受精・顕微授精等による治療を受けている夫婦に対し、その治療費の一部を助成します。(200万円)

■産後ケア(宿泊型)事業

産後の身体面・精神面・社会的においてサポートが必要な産婦・新生児または乳児に対して、宿泊型のサービスを受けられるよう病院等と連携して実施します。

(42万円)

■予防接種事業

インフルエンザ予防接種や幼児を対象としたヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン等の接種事業を実施します。(1,240万円)

令和2年度の川上村一般会計及び各特別会計の予算は、3月17日の村議会定例会において原案どおり可決され、新年度が始まりました。

一般会計予算は、前年度対比2.4%減の38億3,700万円、特別会計は、全8会計(全10勘定)で前年度対比0.4%減の20億9,220万円です。総予算額は、年度対比1.6%減の総額59億2,920万円です。

令和2年度の当初予算は2月の村長選挙により、政策的な経費を含まない骨格基調の予算編成を行いました。このため、今年度の早い時期に新規事業や政策的経費を加えた補正予算を組む予定です。この内容は別途広報誌によりお知らせします。

一般会計・特別会計事業内容

このような事業に予算が使われます

議会費 4,071万円

議会運営(議員報酬、研修費ほか)

総務費 5億4,123万円

■総合管理計画作成委託

令和元年度に作成した個別施設計画を基に、既存の公共施設を総合的にマネジメントするための計画を作成します。今後はこの計画に基づいて整備を行います。(332万円)

■結婚活動支援事業

村内在住の未婚男性を対象に、婚活イベントを実施します。県外などから未婚女性を募集し、交流イベントを実施します。(328万円)

■その他 特別会計繰出(村営バス)、交通安全対策(カーブミラー設置・安全協会補助・チャイルドシート補助ほか)、自治振

土木費 8億1,112万円

■道路維持・修繕工事

村内の足元道路の小規模な修繕工事、除雪や凍結防止剤の散布等を行います。(5,451万円)

■大深山産業道路建設事業

大深山横沢橋からナナーズ付近にわたり道路を整備し、令和4年度の完成を目指します。千曲川左岸道路(居倉小坂橋から大深山横沢橋)の建設事業費は今後の補正予算で計上予定です。(6億1,320万円)

■その他 道路橋梁改良事業(道路舗装、道路維持修繕、除雪・融雪剤散布委託)、特別会計繰出(下水道事業(公共下水道))、公営住宅管理(維持修繕ほか)

消防費 1億4,990万円

■消防施設更新

老朽化した消防施設を整備します。(143万円)

■その他 消防施設等管理(自動車ポンプ等管理委託、出動等手当、被服補充ほか)、佐久広域消防負担金

教育費 3億8,572万円

■ICT教育の推進

小中学校にデジタル教科書・電子黒板を使用し、ICT教育の推進を図ります。(1,231万円)

■高校生通学扶助

高校生の村営バス定期券及び回数券の料金を村内一律の料金(御所平からの料金)として、通学扶助を行います。(270万円)

■給食調理設備の更新

小中学校の給食を調理している機器が使用から10年以上経ち、作動不良であることから更新を行います。(320万円)

■生涯学習教室

大人から子どもまでを対象とした各種多様の生涯学習教室を実施します。(651万円)

■大深山グラウンドの防球ネット設置

大深山産業道路建設に伴い、大深山グラウンドの千曲川側に防球ネットを設置します。(3,340万円)

■その他 小・中学校管理、高校生通学バス扶助、給食センター管理、公民館事業運営(生涯学習教室、分館補助ほか)、文化財保護(遺跡整備、指定文化財整備ほか)、青少年育成事業(柔剣道大会、球技大会、青年団活動補助ほか)、農村総合文化センター管理運営、スポーツ振興(スケート・スキー指導、村民運動会、公民館各種大会ほか)、体育施設管理(マレットゴルフ場、村営グラウンド、村民体育館、梓湖グラウンドほか)、体育施設維持(大深山グラウンド芝生)、奨学金貸与

その他 4億6,480万円

公債費、災害復旧費、予備費

■ヘルススクリーニング等健診事業

ヘルススクリーニングや胃検診、大腸ガン検診、婦人科検診の実施や人間ドックに対する助成などを行い、村民の健康増進に努めます。(1,679万円)

■その他 妊婦新生児一般健康診査補助、環境衛生組合負担金、特別会計繰出(村営水道)、ゴミ処理委託、焼却施設管理運営、ヘルシーパーク中央棟管理運営、鍼灸施術所管理運営、環境保全整備(道路沿道整備ほか)、新エネルギー導入助成事業

労働費 18万円

地域雇用対策

農林水産業費 4億8,635万円

■県営畑地帯総合整備事業

原地区・居倉大深山地区の農道、排水路、用水施設等の設計・整備を行います。(4,174万円)

■農業水路等長寿命化・防災減災事業

大深山地区灌水の長寿命化工事を行います。(6,805万円)

■スマートアグリ実証実験事業

農作物の計画的生産の栽培モデルを作成するため、フィールドセンサーで圃場のデータを蓄積し、ドローンなどを活用し画像の解析を行います。(740万円)

■林地台帳の整備

森林環境譲与税の財源を利用し、林地の所有者情報・登記情報などが搭載された台帳及び地図を整備します。(2,186万円)

■その他 農業委員会(農業委員報酬ほか)、森の駅マルシェかわかみ運営、野菜消費宣伝、農業経営基盤強化資金利子助成、野菜生産安定対策(転作・価格差・緑肥奨励金)、特別会計繰出(下水道事業(農業集落排水事業))、村営牧場管理、国土調査、清浄野菜安定供給対策(廃プラ、野菜生産販売戦略)、有害鳥獣駆除関係、森林造成事業、水源林分収造林受託管理、林業従事者住宅管理

商工費 6,797万円

■クライミングイベント

廻り目平キャンプ場を利用したクライミングイベントを開催し、川上村のPRと観光促進を図ります。(300万円)

■地域活性化創業推進事業

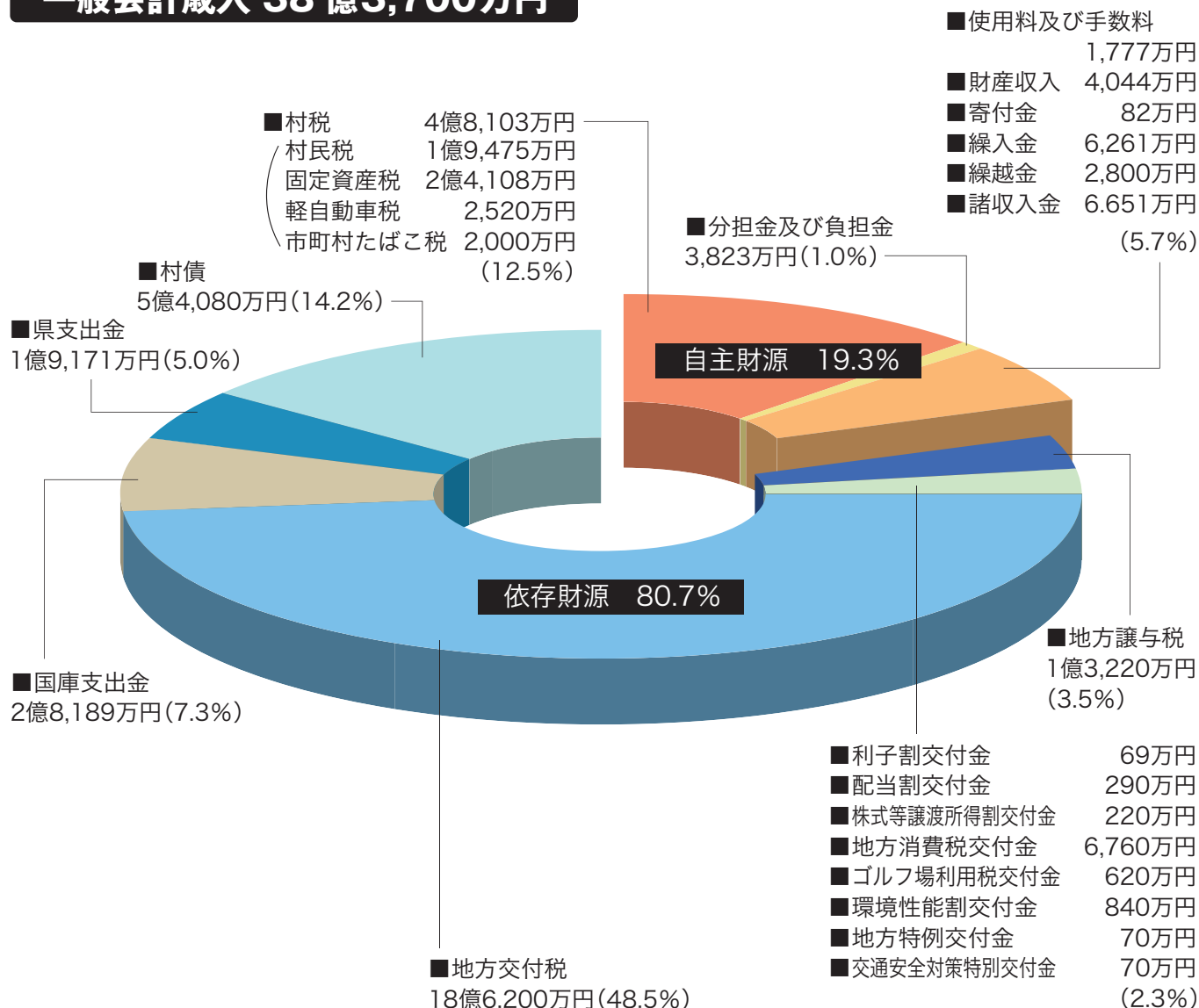
新規事業の創設、開始に係る費用の一部を助成する補助金制度を平成30年度より開始しています。(100万円)

■金峰山荘、キャンプ場周辺整備

観光拠点である廻り目平キャンプ場、ふれあいの森、金峰山荘の老朽化部分を改修します。(165万円)

■その他 商工会補助、観光協会・花火大会補助、廻り目平観光施設指定管理委託、登山道整備、保健休養地管理業務(高登谷)、観光施設整備など

一般会計歳入 38 億3,700万円



令和2年度 一般会計・特別会計 歳入歳出予算

会計名	令和2年度	平成31年度	増減額	前年対比
川上村一般会計	38億3,700万円	39億3,000万円	△9,300万円	△2.4%
川上村営バス事業特別会計	3,820万円	3,760万円	60万円	1.6%
川上村特別住宅特別会計	2,850万円	2,900万円	△50万円	△1.7%
川上村国民健康保険特別会計(事業勘定)	8億4,210万円	8億8,500万円	△4,290万円	△4.8%
川上村国民健康保険特別会計(診療施設勘定)	1億100万円	1億100万円	0円	0.0%
川上村後期高齢者医療保険事業特別会計	5,030万円	5,710万円	△680万円	△11.9%
川上村介護保険事業特別会計	5億990万円	4億9,840万円	1,150万円	2.3%
川上村訪問看護事業特別会計	2,270万円	2,150万円	120万円	5.6%
川上村営水道事業特別会計	1億4,270万円	1億3,510万円	760万円	5.6%
川上村下水道事業特別会計(農業集落排水事業勘定)	1億9,630万円	1億9,550万円	80万円	0.4%
川上村下水道事業特別会計(公共下水道事業勘定)	1億6,050万円	1億4,010万円	2,040万円	14.6%
特別会計 計	20億9,220万円	21億30万円	△8,100万円	△0.4%
全会計 計	59億2,920万円	60億3,030万円	△1億110万円	△1.7%

第1回定例会

条例改正等

◎川上村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
◎川上村営住宅管理条例の一部を改正する条例
◎川上辺地に係る総合整備計画の変更について

補正予算

◎令和元年度川上村一般会計第5回補正予算
◎令和元年度川上村営バス事業特別会計第3回補正予算
◎令和元年度川上村特別住宅特別会計第2回補正予算
◎令和元年度川上村国民健康保険特別会計第4回補正予算
◎令和元年度川上村介護保険事業特別会計第3回補正予算
◎令和元年度川上村訪問看護事業特別会計第2回補正予算
◎令和元年度川上村営水道事業特別会計第6回補正予算

当初予算

◎令和2年度川上村一般会計歳入歳出予算
◎令和2年度川上村営バス事業特別会計歳入歳出予算
◎令和2年度川上村特別住宅特別会計歳入歳出予算

陳情

◎医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める陳情

その他

◎川上村と佐久市・北佐久郡環境施設組合との一般廃棄物処理事務の事務委託について

一般質問

◎役場庁舎建設について (由井秀樹議員)
◎村長選挙での公約について
◎台風19号災害の工事進捗状況について
◎消防団の役割について (由井基治議員)
◎商業に対しての政策について
◎企業誘致について (林 克比古議員)
◎村の福祉政策について
◎児童クラブの夏休み中の実施について

(大西たま子議員)
◎新型コロナウイルス感染症について
◎エコパーク決定を受けての観光促進・開発について

(小林直久議員)
◎男橋復旧工事の進捗状況と通行止めに伴う迂回路について

◎西川に掛かるJR鉄橋付近の水害防災対策について

(林 公上議員)

令和元年度消防功労者
消防庁長官表彰
永年勤続功労章を受章

3月12日(木)、役場で「令和元年度消防庁長官表彰伝達式」が行われ、井出武志前団長が「永年勤続功労章」を受章しました。

長野県の受章者代表として東京都ニッショーホールで受章する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため式典が中止となり、この日、吉沢佐久地域振興局長から賞状と記章が伝達されました。「永年勤続功労章」は、消防団員、消防吏員として過去25年間における出勤率が高く、勤務成績が優秀な方に贈られるものです。



令和元年度防災功労者消防庁長官表彰を受章

3月30日(月)、役場で令和元年度東日本台風(台風19号)災害に係る「防災功労者消防長官表彰」が行われ、村長から団長へ伝達されました。

この表彰は、令和元年度東日本台風(台風19号)災害の際、特に顕著な活動実績があった団におくられる表彰です。

令和元年10月12日に上陸した台風19号の際、川上村消防団は7日間で延べ456人が出動し、避難誘導や水防活動、給水作業等の活動に従事した実績を受け、この度の表彰となりました。

団長からは、今後も住民が安心して暮らせるよう、団員が一丸となって活動に邁進していきたいとの決意が述べられました。





退任のご挨拶

川上 芳夫

彼岸も過ぎて、川上村のあたり前の光景、トラクターの音が聞こえてきます。

冬の眠りから覚め、今年の農業のスタートです。いつもこの時期、大変活気のあるまさに目覚めの時でありましたが、今年は何か違います。新型コロナウイルスが猛威をふるい、世界各国で大変なことになっています。日本でも全国で毎日新しい感染者が発症し、あらゆる対策を使って封じ込めを図っていますが簡単ではありません。世界が近くな

も早く治療薬やワクチンができて終息することを願っています。

この度、二月末日をもって十二年間勤めた川上村副村長の職を退任致しました。全く行政経験の無かった私が大過なく終えることができましたことは、ひとえに村民の皆さま、村長、議員の皆さま、職員の皆さま、関係したすべての皆さまのおかげと感謝でいっぱいです。今、任務を終えほっとして一日を過ごしています。改めてふり返ってみますと、本当に貴重な素晴らしい時間をいただき、充実した十二年間でした。川上村を支えている基幹産業である農業が悪い年もありましたが、総じて好調で推移し、油井亀美也さんや山中

大地くんのように世界の舞台で活躍する、そんな場面にも立ち会うことができました。四千人の人口しかない小さな村から世界で戦える人が出てくるということ

は、本当に素晴らしいことだと思っています。このような人を輩出できるのも、長い歴史の中で培ってきた誇るべき川上村の底力だと思っています。これからも常に村一丸となつて、力を内に秘めた、心穏やかで懐の深い、真に豊かな理想郷を目指し、一歩ずつ近づいていければ良いと思います。

今後は一村民として、ささやかに農業をしながら川上村の更なる発展を願っています。本当にありがとうございました。

令和二年三月



川上芳夫前副村長の経歴

◆川上村教育委員

任期:平成8年10月～平成11年4月

◆川上村議会議員(社会文教委員長)

任期:平成11年5月～平成15年4月

◆川上村副村長

任期:平成20年4月1日

～令和2年2月29日

川上前副村長は、令和元年10月に長野県町村会から11年以上勤務され、功績がある副町長及び副村長を対象とした自治功労者表彰を授与されました。11年以上勤務された副町長・副村長は県内でも珍しいとのこと。また、川上前副村長は副村長としての功績を称えられ、赤坂御苑で催される園遊会にも招待されました。

次号にて、藤原前村長特集を予定しております。



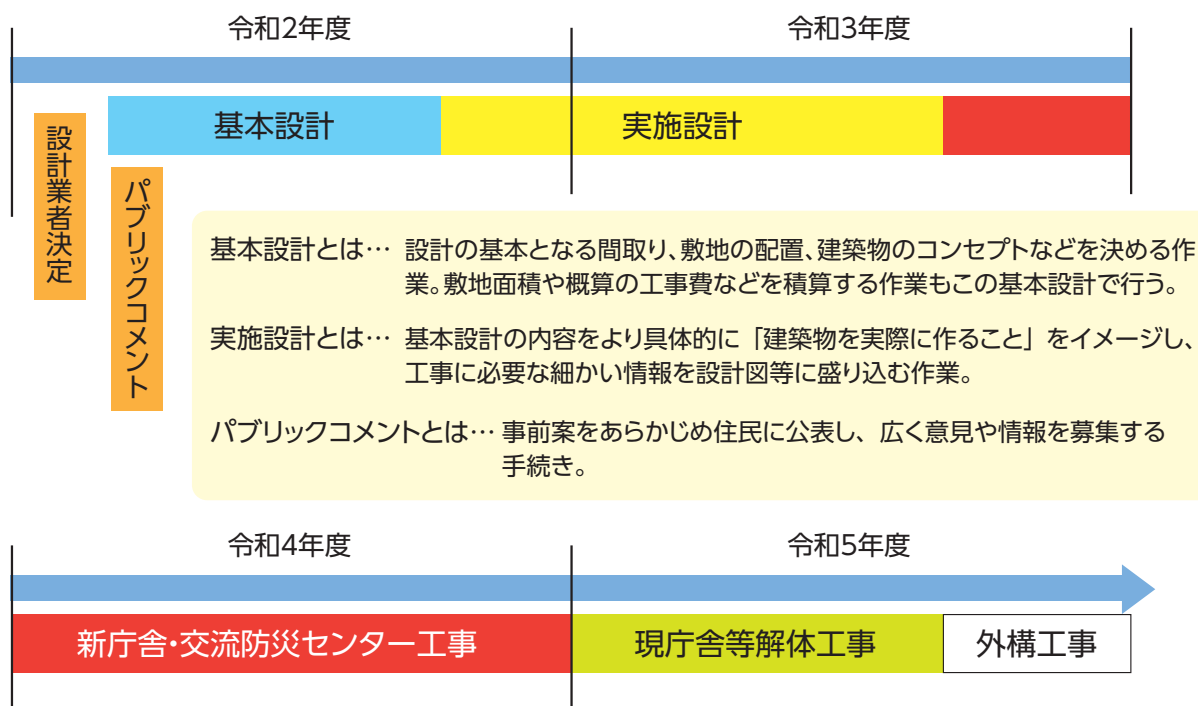
川上村新庁舎・交流防災センターの設計が始まります

「川上村新庁舎・交流防災センター建設基本計画」を策定しました。新しい庁舎及び交流防災センターは、現在の役場駐車場に建設する予定です。6月に設計業者を選定し、パブリックコメント(住民意見集約)等を実施しながら設計を進めます。

基本理念

- 行きづらい役場を解消 ▶▶▶ (1) いつでも、どなたでも、気軽に集える施設
- 複雑な造りは困る ▶▶▶ (2) シンプルで、すべての人にやさしい施設
- 災害は怖い ▶▶▶ (3) 村民の安全を守れる、心強い施設
- 建てて終わりではない ▶▶▶ (4) 維持管理費用を抑えた環境に配慮した施設

スケジュール



建設に係る「基本構想」及び「建設基本計画」は、村のホームページで公開していますので、ご意見等あればお寄せください。

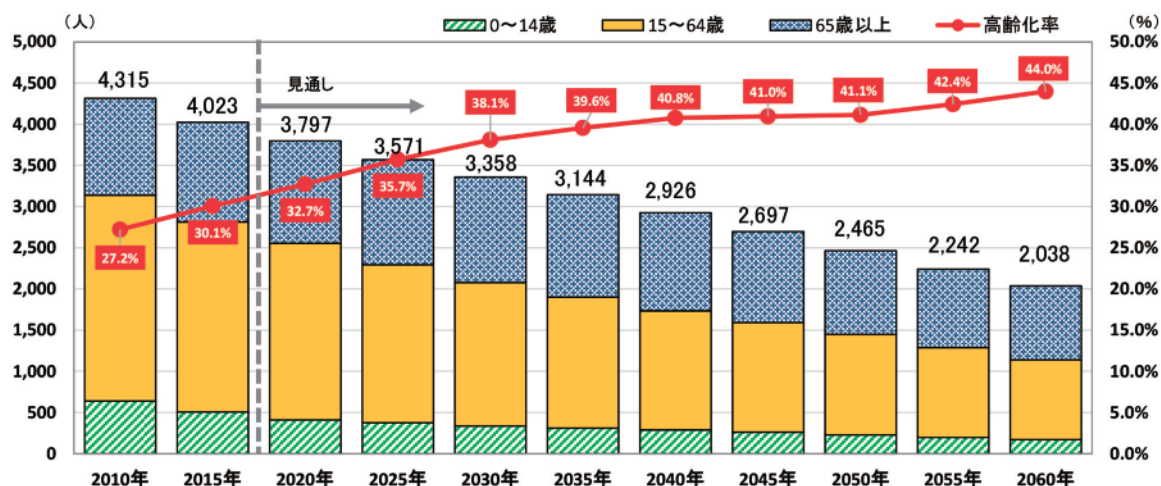
お問合せ

役場政策調整室 TEL.91-5160

川上村まち・ひと・しごと創生総合戦略

まさか!人口が約 2,000 人になる!?

川上村人口ビジョンによる将来人口推計では、2060年に川上村の人口は2,038人になると予測されています。
 少子高齢化の進展に的確に対応し、将来にわたって持続可能な活力ある村づくりを目指し、
 第2期川上村まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定しました。



川上村人口ビジョン

まち・ひと・しごと創生総合戦略とは…

まち・ひと・しごと創生法(平成26年施行)第十条に基づく市町村の総合的な実施計画。

まち・ひと・しごと創生法とは…

日本の急速な少子高齢化の進展に対応し、人口減少の歯止めをかけ、
 東京圏への人口の集中を是正し、

まち …それぞれの地域で住みよい環境をつくること

ひと …それぞれの地域で必要な人材を確保すること

しごと …それぞれの地域で多様な就業を創出すること

を目的とした地方を活性化するための基本理念を定める法律。

第2期 川上村まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標

- ① 「やりがい」あふれる活躍の場をつくり、新しい発展のエンジンとなる産業をつくる
- ② 魅力ある観光資源を発信し、村内外の活発な人口交流の仕組みをつくる
- ③ 生活の不安を解消し、将来も「安心」して子育てできる環境をつくる
- ④ コミュニティの「結束」を高め、少数精鋭でも活力ある地域をつくる

詳しい内容については、村のホームページに掲載している「第2期川上村まち・ひと・しごと創生総合戦略」をご覧ください。

◆ お問い合わせ 役場政策調整室 TEL:91-5160



令和2年度からの5カ年計画

川上村子ども・子育て支援事業計画(第2期)を策定

平成27年度からの5カ年計画で策定された川上村子ども・子育て支援事業計画の計画期間終了に伴い、子どもや子育ての現状と課題を踏まえ、第2期の川上村子ども・子育て支援事業計画が策定されました。

●子どもや子育て家庭を取り巻く現状と課題

社会情勢や産業構造の変化、価値観の多様化など子育てをめぐる環境は変化しています。計画策定に際しては、「川上村子ども・子育て支援に関するアンケート調査」の結果を基に、住民の子育て支援ニーズの結果から、村議会議員、三校関係者、児童福祉関係者、保護者代表、行政機関等から構成される「川上村子ども・子育て会議」を開催、現状と課題などが討議され、以下を重点課題としました。

現 状

- 仕事と子育ての両立を支援する体制の不足
- 子育てに孤立感・負担感を生じやすい環境
- 気軽に相談できる場所の不足
- 子どもを預かる体制が量・質ともに不足
- 子育てに関する情報提供が不十分
- 経済的支援の不足



重要課題

- 子育て相談の場、支援体制の整備
- 子育て支援情報の提供体制の整備
- 一時預かりなど保育サービスの改善、質の向上
- 放課後児童クラブの拡充

●川上村子ども・子育て支援事業計画(第2期)の概要

現状と課題を踏まえ、策定された事業計画、概要は以下のとおりです。

①安心して子育てが出来る仕組みづくり

- (1) 子育て相談・支援体制の充実…妊娠・出産・子育てに関する相談などの充実
- (2) 情報提供の充実…子育て生活情報アプリの充実、子育て応援ブックの更新
- (3) 保育サービスの向上…保育の質・保育士の資質の向上
- (4) 子育て家庭の健康支援の充実…健康支援事業体制の向上
- (5) 経済的支援の充実…支援事業の充実
- (6) 障がい・要支援児童に対する支援の充実…生活支援・発達支援の充実
- (7) 仕事と子育ての両立支援の推進…働き方の見直しと男性の子育て参加の促進
- (8) 児童虐待・DVに対する体制の強化…総合的な体制づくりの推進

②地域で子育て家庭を支える仕組みづくり

- (1) 放課後児童クラブの充実…対象範囲の拡大、支援員・補助員の資質の向上
- (2) 子育て関連事業の支援・推進…子育て支援の充実

③子どもの心豊かな成長を育む仕組みづくり

- (1) 郷育による人づくりの推進…地域に開かれた教育・保育の推進
- (2) 青少年健全育成活動の推進…社会参加・道德活動の支援



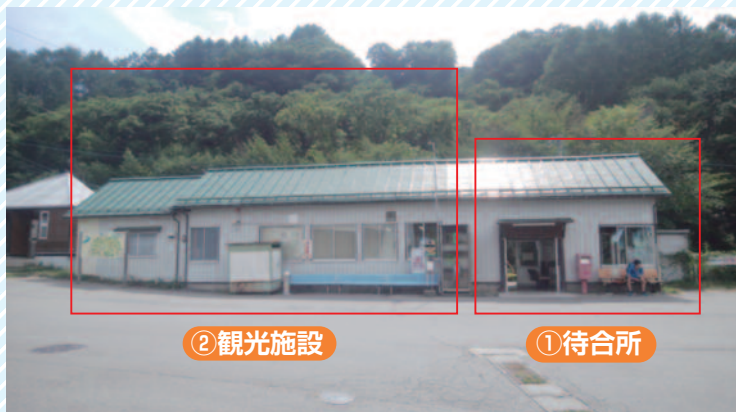
計画推進に向け、地域や行政、関係機関との連携強化はもとより計画の成果について点検・評価すると共に、社会情勢の変化、国勢の動向に合わせた柔軟な対応が求められます。村では、この計画を基に計画に対する意見聴取に努め、計画の進行に反映させていきます。

問い合わせ 保健福祉課 97-3600まで

信濃川上駅

駅舎の建替えを行います

建物配置イメージ



工事期間は、令和2年7月頃から令和3年1月頃までを予定しています。

既存の建物は、8月から解体撤去作業を始める予定で、

①待合所

②観光施設

の順で建設する計画です。

これにともない8月から工事終了まで信濃川上駅での切符販売等の業務が停止となります。ご不便をおかけしますがご協力をお願い致します。なお、工事期間中は仮設の待合室を設置しますので乗降は通常どおりとなります。

高校通学利用者を対象

お知らせ

川上村営バスでは高校通学利用者を対象に交通費の助成を実施しています。

●3か月通学定期券の場合

各停留所	通常料金(円)	助成後自己負担分(円)
川端下	49,590	8,550
梓山	47,030	
秋山	41,040	
川又、居倉	34,200	
小川口	30,780	
金山	27,360	
大深山	18,810	
原	13,680	
御所平	8,550	
樋沢	8,550	
樋沢野辺山	17,100	

どの停留所からも

8,550



どの停留所からも

この他1か月定期券と回数券も助成を実施しています。

- 1ヵ月定期券 3,000円
- 回数券(6枚綴) 500円

定期券、回数券のお求め、お問い合わせは役場企画課まで

TEL.97-2121

答え 駅長の名前が「金次郎」だったから！

昭和初期、信濃川上駅の駅長だった五十嵐金次郎氏が自身の名前にちなんで建てたそうです。小海線信濃川上駅の他に大糸線豊科駅にも同様の銅像があるそうです。

ミニコーナー3
川上村の
“これ、知ってた?”



「信濃川上駅の金次郎像」
知ってた?

信濃川上駅の改札口をぬけて右側に設置されている金次郎像。なぜ学校ではなく駅に設置されているか、みなさん知っていますか？

小海線信濃川上駅…

昭和10年開業、村の玄関口として多くの人が利用しています。現在、駅長さんはいませんが一日の述べ利用者数は平均110名、利用者の多くは高校生です。中学を卒業し、それぞれの道を歩むその多くの足跡は、長年にわたり世代を超えてこの「信濃川上駅」を交差しています。思い出の駅舎、寂しいですが、新しい駅舎、楽しみです。



フォトピ!

Photopics

川上村のできごと



1/26 氷と友達!

第40回川上スケート大会を松原湖スケートセンターで開催しました。保育園から小学校6年生までの128名が出場し、日頃の練習の成果を発揮しました。



1月

- 2日 川上村成人式
- 5日 川上村消防団出初式
- 12日 居倉地区おんべきり
- 14日 新年互礼会
原地区お方ぶち・子ぶち
- 26日 第40回川上スケート大会
- 30日 東京オリンピック・パラリンピック
選手村ビレッジプラザ内覧会



1/30

川上村の カラマツを使用!

東京オリンピック・パラリンピック選手村ビレッジプラザで川上村産のカラマツが使用されています。長野県からは他にも根羽村のスギ、天龍村のヒノキが使用されています。



2/17

当選証書付与式

2月16日に行われた川上村長選挙で当選した由井明彦村長の当選証書付与式が行われました。



2月

- 1～4日 全国中学校スケート大会
- 16日 川上村長選挙
- 17日 当選証書付与式
- 21日 川上村議会第1回臨時会
- 26日 藤原前村長、川上前副村長
退職式
- 27日 由井明彦村長初登庁
- 28日 新型コロナウイルス
対策本部設置

3月

- 2日～ 川上中学校、第一・第二小学校
臨時休校
- 7日 公民館舞台発表
- 10日 藤原前村長感謝状贈呈
- 10～17日 川上村議会第1回定例会
- 18日 川上中学校卒業証書授与
- 19日 川上第二小学校卒業証書授与
- 21日 川上第一小学校卒業証書授与
- 24日 かわかみ保育園卒園式

3/10

長い間お疲れさまでした



8期32年の長きにわたった任期が満了した藤原前村長へ感謝状が贈呈されました。本当に長い間ありがとうございました。



3/31

ありがとうございました

3月31日をもって2名の派遣職員の派遣期間が終了しました。長野県職員の関渉さんには村土整備係として2年間、左岸道路・産業道路の建設などにご尽力いただきました。石川県加賀市職員の網谷一毅さんには、台風19号の災害復旧応援派遣として4か月間ご尽力いただきました。



4/1

新年度が始まりました

役場では辞令交付式が行われ、3名の職員が新たに入庁しました。また、村消防団の任命式・退団式が行われ、退団者には村長から感謝状が手渡されました。今年度の入団は15名。これからの活躍が期待されます。

4月

- 1日 役場辞令交付
川上村消防団任命式・退団式
川上村公民館副館長任命式
- 2日 かわかみ保育園入園式
- 6日 川上第一・第二小学校入学式
川上中学校入学式
- 14日～ 川上中学校、第一・第二小学校
臨時休校



4/6

ドキドキ！
わくわく！

あたたかい春の陽射しの中、三校入学式が挙行されました。70名の新入生を迎え、新学期がスタートしました。



新型コロナウイルス感染症の影響により納税が困難な方に対する 地方税における猶予制度について

新型コロナウイルス感染症に納税者（ご家族を含む。）が罹患した場合のほか、新型コロナウイルス感染症に関連するなどして以下のようなケースに該当する場合は、猶予制度があります。

ケース1 災害により財産に相当な損失が生じた場合

新型コロナウイルス感染症の患者が発生した施設で消毒作業が行われたことにより、備品や棚卸資産を廃棄した場合

ケース2 ご本人又はご家族が病気にかかった場合

納税者ご本人又は生計を同じにするご家族が病気にかかった場合

ケース3 事業を廃止し、又は休止した場合

納税者の方が営む事業について、やむを得ず休業をした場合

ケース4 事業に著しい損失を受けた場合

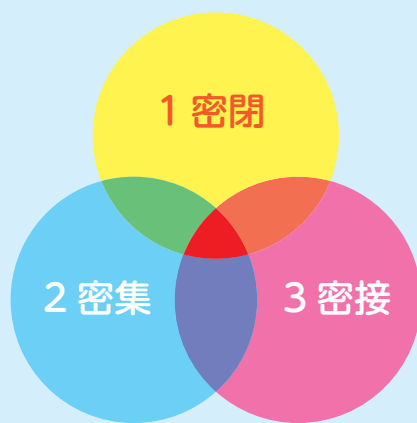
納税者の方が営む事業について、利益の減少等により、著しい損失を受けた場合

この他、新型コロナウイルス感染症の影響により、地方税を一時に納付することができない場合、申請による換価の猶予制度があります。

長野県若しくは川上村役場総務課税務係にご相談ください。

新型コロナウイルスの
集団発生を防止しましょう！

3つの密を避けましょう！



① 換気の悪い密閉空間 ❌

② 多数が集まる密集場所 ❌

③ 間近で会話や発声をする密接場面 ❌

新型コロナウイルスへの対策としてクラスター（集団）の発生を防止することが重要です！日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。

**3つの条件がそろう場所が
クラスター（集団）発生のリスクが高くなります！**

※3つの条件の他、共同で使う物品は消毒などを行ってください。

源流

4月。新型コロナウイルス拡大に伴い、安倍首相は都市部を中心とした7都府県を対象に「緊急事態宣言」を発令しました。これにより、新型コロナウイルスの全国的な蔓延、国民生活や経済に甚大な影響を及ぼす状態が本格的に始まったと窺えます。集団感染を減らし、事態を終息するため、我々は不必要な外出を今まで以上に控えなければなりません。

4月。本来なら入学、進学、就職、門出を祝うこの季節。得体の知らないウィルスの恐怖や先の見えない不安の中、KC Vの取材を通して子供たちの笑顔に癒される私でした。企画課に配属されたこの機会に、私の趣味ライフワークである登山の魅力を皆様にお伝えする事ができたら嬉しく思います。

県内でも感染者が増え始め、村内でも感染者がでない心配です。不要不急な外出は控え、皆様も精神的、身体的、経済的に苦しく予測のつかないこの現実を受け止め、協力・連携して乗り切りましょう。

【企画課企画広報係

中島 樹】